

報道関係者 各位

プレスリリース

太田 悠 -SHIBARI with Red Torso-

TOHO BEADS STYLE Tokyo studio Gallery t

2014年7月11日(金)- 8月8日(金)

*オープニングレセプション 7/11(金)18:00-20:00

*クロージングパーティー 8/8(金)16:00-18:00

*ワークショップ開催 7/26(土) 14:00-16:00 参加費無料

10:00-18:00 土日祝日休(※但し7/26(土)は開廊) / 入場無料

会場: Gallery t 〒111-0052 東京都台東区柳橋1丁目9-11

主催: トーホー株式会社

この度、Gallery t では、「太田悠-SHIBARI with Red Torso-」を開催いたします。太田悠は、2009年からNPO法人美術学校にて絵画とドローイングを学び、近年、「TRANS ARTS TOKYO」(2012)、渋谷「イケる気がする」展(HIGURE 17-15 cas, 2013)など、展示やイベントを開催し、精力的に活動している現代アーティストです。本展では、縄を使用した新作インスタレーションの発表、作品の販売をいたします。是非ご高覧いただきますよう、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

Gallery t



新作《Shibari with Red Torso》
インスタレーションのイメージ(部分), 2014
縄、紙粘土、アクリル, 15×22.5×11cm

| 本展によせて |

“shibari”とは、「(日本の)緊縛」を指す言葉として今や海外でも認知されています。英語で言う「bind(縛る)」では翻訳し得ない日本固有の文化的背景を感じさせる言葉です。

「緊縛」というと今日ではSMプレイのイメージが強いでしょう。しかしそのルーツは江戸時代、罪人を捕らえるための補縄術にあると言われています。当時は罪人の身分や性別によって縛り方が異なるなど、細かいルールが存在していましたが、そのような体系を引き継ぎ、発展して、プレイとしての「緊縛」が形成されてきました。またこれまでも、月岡芳年や伊藤晴雨、団鬼六など多くのアーティストが「緊縛」という題材に取り組んできました。そしてインターネットが普及した現代では、本来マニアックなプレイであるはずの「緊縛」は、かなりの認知度を得ていると言えるでしょう。

そのような時代において、私もひょんなことで緊縛にふれ、その魅力に取り憑かれてしまった一人です。

緊縛がより身近になる一方、アートの分野では表現方法が多様化し、従来の様式に捕らわれない自由な作品作りをアーティストは求められています。

私は普段“フェティッシュ”や“エロティック”をテーマに活動していますが、本展覧会では特に、緊縛を知るなかで感じた「興奮」「不自由」そして「解放」と「癒し」を、彫刻や写真、インスタレーションによって作品化し、現代のエロティックアートの可能性を探っていきたいと思います。

右上の写真にある《真っ赤なトルソー》は、縛られ自由を剥ぎ取られた、無惨な肉体の象徴であり、私自身です。

不自由な(私の)身体は、個人(私)を忘却した《肉の塊》に変態し、こう語りかけます。

「もう自由なんかいらない」

太田 悠



《女体盛りポスター》, 2013
光沢紙にインクジェット印刷



《red painting1》, 2011
和紙、アクリル

太田悠 OTA YU

1989年東京生まれ。

2009年からNPO法人美術学校にて絵画とドローイングを学び、“有機的な線”をモチーフに作品を作り始める。2011年アートグループ渋谷に加入(現在も継続)。多ジャンルの人と触れ合う環境に身を置くなかで、インスタレーションという芸術手法に強い関心を持つ。砂を用いたインスタレーション作品の制作に取り組む。2012年から緊縛を学び、フェティッシュやエロティック文化の研究を始める。2013年渋谷企画「イケる気がする」展で美・食倶楽部とコラボしアートパフォーマンス『女体盛り』をリリース、モデル兼アートディレクションを務める。現在はアート・フェティッシュ・エロティックをキーワードに国内外で活動中。

EXHIBITIONS

- 2010 行使展／文房堂ギャラリー, 神保町, 東京
腿テント旗揚げ公演／ギャラリイK, 京橋, 東京
- 2011 日本コラージュ2011／ギャラリイK, 京橋, 東京
腿テント第2回公演／文房堂ギャラリー
- 2012 100人展／Ouchi Gallery, NY
ライン ビヨンド ライン／美術学校, 東京
日本コラージュ2012／ギャラリイK, 京橋, 東京
MAPPE／TUNER GALLERY, 南長崎
NAMNAM／namGallery, 笹塚, 東京
Surfing Lost Desert, 個展／テレビシコール, 中野, 東京
Labor, Party, Nuclear "After Nuclear Family"／TRANS ARTS TOKYO, 神田, 東京
- 2013 渋谷「イケる気がする」展～第一回渋谷アート選手権大会～／HIGURE 17-15 cas, 日暮里, 東京
ANO DUAL ESPANA JAPON／OLIVERT ART GALLERY, Barcelona
Multi(Multi)(ple(s))／Container Online Shop

お問い合わせ先

Gallery t

tel: 03-3862-8549 fax: 03-3851-9787 email: bstyle-galleryt@toho-beads.co.jp

URL: <http://www.toho-beads.co.jp/tbs> 担当: 木内

是非、貴誌・貴社にてご紹介下さいますようお願いいたします。なお、掲載用写真の貸出、御質問などございましたら、上記までお問い合わせ下さいませ。

TOHO BEADS STYLE Tokyo studio / Gallery t は、ガラスビーズと現代アートとのコラボレーションというコンセプトのもと、毎月1回のペースで企画展を開催しております。